

第1回懇談会で配布したアンケートでご回答いただいた主なものについてご紹介します。

(1) あなたが考える西宮中学校の良さや特徴を教えてください。

視点の例：①施設の特徴（ハード面） ②周辺環境・地域の関わり（ソフト面） ③その他

- 生徒たちが活発に活動する場があり輝いていること。
- 部活動が盛んであること。
（バスケットコート1面の体育館、テニスコート単独、野球サッカーができる校庭がある）
- 多目的室のような余裕ある教室があり日中フルに活用できる。
（文化部、少人数教室、合唱祭のパート練習、委員会活動などができる。）
- 中学受験をするか公立学校に行くかを選択する時代に、公立学校の良さは地域との結びつき、地元にある良さが挙げられる。
- 学ぶ環境として、教室の居心地も毎日のモチベーションには欠かせない。
- 今学びたいことが今学べる学校。

(2) 西宮中学校の改築及び（仮称）コミュニティふらっと宮前の整備に期待することを教えてください。

<西宮中学校の改築・整備に期待すること>

- 西宮中学校は現状より多い部屋の確保、機能の充実を実現してほしい。
- グラウンドは現状より広くしてほしい。
- 体が一番成長する時期に、十分体が動かせる運動場も確保してほしい。
- 学校教職員の働き方改革も進められるよう、個人情報、プライバシーがちゃんと守られ、それによる教職員の負担増にならない、子どもたちの自由がなくなることを前提に施設づくりを考えてほしい。
- ひと学年ごとの保護者会も開催できる部屋が欲しい。
- 今の西宮中の教室は狭い。昨今は、体格のいい子どもが多く、趣味も興味も多種多様。そんな子どもたちの学びたいを引き出し育ててもらえるような学校を実現させてほしい。
- 小学校向けの情報連携をしてほしい。



<コミュニティふらっと宮前の整備に期待すること>

- ティーンズタイムを設置してほしい。
- 長居したくなる場所であること。
- ラウンジにはできるだけ多い席数を確保してほしい。
- 地域施設として使われやすい環境を作っていきたい。
- この地域のより良い在り方や福祉を考えた施設として整備してほしい。
- 中高生が放課後も充実した時間を過ごせるスペースの確保。
- 放課後の居場所にもなる場であること。
- 年齢を重ねても使いやすいこと。



<共通・その他>

- 使い勝手のいい施設であること。日々の活動を想定しての設計が必要。
- 子どもたちと地域の人々との関わりが分かれてしまわない様、動線がうまく取れるといい。
- 出来上がった建物に対して愛着の持てる温かみのある施設であること。
- コミュふら利用者も笑顔、中学生も笑顔、教職員も笑顔、地域も笑顔。
- お互いにWINWINであること。
- 中学生の活動は想像以上に多岐にわたるため、その活動を具体的に 取り上げ、そこに必要なスペースはどうあるのがいいのか、生徒へのヒアリングが必須。
- コミュニティふらっととの連携を考える上での動線の十分な協議が必要。
- 学校、集会施設どちらにも柔軟であること。
- 中学校の機能と役割がしっかり果たせる施設であること。